

逸脱や衝突防ぐ簡易システム

既存車両に後付け可

前を行く車との衝突や道路をはみ出して走行する危険を知らせる衝突警報装置を、太田市のワータックス（安俊典社長）が開発し来年1月にも販売する。

同市内で生産されるスバル車の運転支援システム「アイサイト」が好評なことを受け、簡易システムとして開発した。前方の状況を把握するカメラと3つの表示モニターから構成、既存車両に後付けできるのが特徴。機能は、車線に近付き過ぎたりすると知らせる車線逸脱警報▽前方車両との相対速度から追突の危険を知らせる前方衝突警報▽停車時に前方車両が発進したこ

太田の会社 警報装置を開発

とを知らせる前方車発進検知の三つ。画面と警告音・音声でドライバーに知らせる。

同社はトラック用ドライブレコーダーなどを製造しており、長距離ドライバーなどの需要を見込んで昨年夏から開発着手。検知精度を上げるためのプログラムなどに時間をかけて完成させた。「居眠りやわき見による事故の防止につながる。将来はブレーキと連動した後付けシステムを目指す」という。同様な輸入品に比べて6割程度の7万9800円で販売する。問い合わせは同社（0276・25・3788）。

【金沢衛】



衝突警報装置のカメラ（左）とモニター